

株主メモ

事業年度	2月21日～翌年2月20日
期末配当金受領株主 確定日	2月20日
中間配当金受領株主 確定日	8月20日
定時株主総会	毎年5月中旬
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.jeansmate.co.jp/ir/koukoku.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

第52期

中間報告書

自 平成23年2月21日
至 平成23年8月20日



株式会社ジーンズメイト

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社の第52期第2四半期累計期間（自平成23年2月21日 至 平成23年8月20日）における営業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災発生に伴う景気の落ち込みに持ち直しの動きが見られるものの、電力使用の制限や原材料価格の高騰、さらには急激な円高などにより個人消費を含めた景気の先行きは依然として不透明な状況でありました。

このような経営環境のもと、当社では業績回復のために収益構造の改善を図るべく、既存業態の建て直しと新たなビジネスモデルの構築・拡充に取り組んでまいりました。

商品面におきましては、盛夏商材であるショートパンツやクール素材のイージーパンツ及びシャツ類などにおいては一定の成果を上げることができました。しかしながら、依然としてデニム5ポケットが苦戦していることに加え、本来この時期の柱となるべき半袖Tシャツ類の売上が前年を大きく下回りました。一方では、当期より商品政策の転換を進め、付加価値の向上を図るとともに低価格商品の取扱いや価格訴求販売を抑制したことなどにより、売上総利益率は改善させることができました。

その結果、商品部門別では、ボトムス部門の売上高19億40百万円、トップス部門の売上高25億54百万円、小物部門の売上高12億73百万円となりました。

販売面といたしましては、クール素材のパンツを対象に試着するだけでポイントをプレゼントする「お試しキャンペーン」や次回のお買物で使える「レシートクーポンキャンペーン」などを実施するとともに、ファッション雑誌や交通広告などへ出稿し、既存業態の建て直しに取り組んでまいりました。また、新業態の「PLAINN（プレイン）」、「blue bell market（ブルーベルマーケット）」につきましては、売場や商品の修正を重ねながら認知度を向上させるよう取組みを開始いたしました。

その他、これまで2フロアで営業していた本社事務所を7月より1フロアに集約するなど固定費の圧縮も進めてまいりました。

出退店につきましては、出店が11店舗、退店が6店舗、業態変更が2店舗となり、当第2四半期累計期間の期末店舗数は110店舗となりました（「JEANS MATE」91店舗、「ワケあり本舗」9店舗、「Happy Door」5店舗、「ゼログラ」1店舗、「PLAINN」2店舗、「blue bell market」2店舗）。なお、24時間営業店

舗は17店舗（すべて「JEANS MATE」）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は57億68百万円、営業損失は25百万円、経常損失は9百万円となりました。また、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額3億60百万円、減損損失2億81百万円を計上したことなどにより、四半期純損失は6億96百万円となりました。前年同四半期に比べ、客数の減少などにより大幅な減収となりましたが、商品政策の見直しや固定費の圧縮などにより、利益面では改善させることができました。

なお、誠に遺憾ではございますが、中間配当金につきましては無配とさせていただきます。

今後につきましては、販売力強化と経費削減による収益力の回復に向け、①品揃えの拡充と売場の再構築、②ワケあり本舗業態の確立、③新業態店舗の開発、④不採算店の撤退促進、⑤固定費のさらなる圧縮を中心に収益力の回復に尽力してまいります。

通期の見通しにつきましては、売上高118億40百万円、営業損失2億20百万円、経常損失2億円、当期純損失11億円を見込んでおります。

平成23年11月



代表取締役社長 西脇 昌司

四半期貸借対照表 (平成23年8月20日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	6,037,562	流 動 負 債	1,283,650
現金及び預金	1,853,086	支 払 信 託	251,252
売 掛 金	164,194	買 掛 金	309,078
有 価 証 券	1,786,393	賞 与 引 当 金	72,679
商 品	2,070,509	ポ イ ン ト 引 当 金	168,716
そ の 他	163,378	店 舗 閉 鎖 損 失 引 当 金	29,806
固 定 資 産	2,961,098	そ の 他	452,115
投資その他の資産	2,961,098	固 定 負 債	870,003
投資有価証券	550,582	資 産 除 去 債 務	528,186
敷金及び保証金	2,297,075	長 期 未 払 金	335,877
長期未収入金	304,565	そ の 他	5,940
そ の 他	108,440	負 債 合 計	2,153,653
貸倒引当金	△299,565	純 資 産 の 部	
資 産 合 計	8,998,661	株 主 資 本	6,852,645
		資 本 金	2,015,812
		資 本 剰 余 金	2,125,434
		利 益 剰 余 金	3,970,731
		自 己 株 式	△1,259,332
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	△7,638
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△7,551
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△87
		純 資 産 合 計	6,845,007
		負 債 純 資 産 合 計	8,998,661

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期損益計算書

(単位：千円)

科 目	当第2四半期累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)
売 上 高	5,768,227
売 上 原 価	2,890,558
売 上 総 利 益	2,877,668
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,902,964
営 業 損 失 (△)	△25,295
営 業 外 収 益	22,284
営 業 外 費 用	6,391
経 常 損 失 (△)	△9,402
特 別 損 失	664,903
税 引 前 四 半 期 純 損 失 (△)	△674,305
住 民 税	22,030
四 半 期 純 損 失 (△)	△696,336

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当第2四半期累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△266,173
投資活動によるキャッシュ・フロー	178,855
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,433
現金及び現金同等物の増減額	△88,751
現金及び現金同等物の期首残高	2,311,021
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,222,269

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

業績の概況

■ 業績の概況

(単位：百万円)

区 分	当第2四半期累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)
売上高	5,768
経常損失(△)	△9
四半期純損失(△)	△696
1株当たり四半期純損失(△)	△63円72銭
総資産	8,998
純資産	6,845

(注) 1株当たり四半期純損失は、期中平均株式数で算出しております。

■ 商品部門別売上高

(単位：百万円)

部 門 別	当第2四半期累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)	
ボトムス	1,940	33.6%
トップス	2,554	44.3
小物	1,273	22.1
合計	5,768	100.0

会社の株式に関する事項 (平成23年8月20日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	10,928,700株(自己株式1,722,766株を除く)
株主数	11,667名
大株主(上位10名)	

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
西脇健司	2,537千株	23.21%
西脇昌司	1,619	14.81
(有)ケン・アンド・ティール・ニシワキ	599	5.48
西脇タミ子	590	5.40
ジーンズメイト従業員持株会	193	1.77
西脇大輔	186	1.70
西脇隆	172	1.57
朝日火災海上保険(株)	124	1.13
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	119	1.09
(株)エドウィン	115	1.05

(注) 大株主には、自己株式(1,722,766株)は含まれておりません。
持株比率は、自己株式(1,722,766株)を控除して計算しております。

会社の概況 (平成23年8月20日現在)

資本金 2,015百万円
従業員数 182名

主要な事業内容

当社はカジュアルウェアや雑貨等を販売する専門店チェーンであります。平成23年8月20日現在で「JEANS MATE」業態91店舗、「ワケあり本舗」業態9店舗、「Happy Door」業態5店舗、「ゼログラ」業態1店舗、「PLAINN」業態2店舗、「blue bell market」業態2店舗の計110店舗を展開しております。

出店形態は駅周辺や繁華街等の集客力のある商業集積地へのビルイン出店を軸に、ショッピングセンター内テナント出店などドミナントエリアを形成しつつあります。

取扱品目は、ジーンズやカジュアルパンツ等のボトムス類、Tシャツやシャツ、ジャケット等のトップス類、ソックスやベルト、服飾雑貨、ホビー等の小物類と多岐にわたっております。幅広い商品構成とリーズナブルなプライスで常に「買物のしやすい場所ですいつでも気軽に安心して買える地域一番店」を目指しております。

役員

取締役会長	西脇健司
代表取締役社長	西脇昌司
専務取締役	砂田真一
取締役(店舗開発部長)	藤西直人
常勤監査役	中村明
監査役	加納治夫※
監査役	林原菜穂子※

※監査役加納治夫氏および林原菜穂子氏は、社外監査役であります。なお、両氏は株式会社東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。

主な事業所および店舗

本社	東京都渋谷区元代々木町30番13号
戸田物流センター	埼玉県戸田市笹目8丁目9番10号
相模原物流センター	神奈川県愛甲郡愛川町角田字梅沢前375番1号
戸塚研修センター	神奈川県横浜市戸塚区上倉田町445番1号
店	

	JEANS MATE	ワケあり本舗	Happy Door	ゼログラ	PLAINN	blue bell market
東京都	47店舗	40	3	1		2
神奈川県	19店舗	15	2	2	1	
千葉県	4店舗	4				
埼玉県	14店舗	12	1	1		
栃木県	1店舗			1		
愛知県	3店舗	2	1			
大阪府	12店舗	9	2		1	
兵庫県	4店舗	4				
広島県	3店舗	2		1		
山口県	1店舗	1				
福岡県	2店舗	2				
計	110店舗	91	9	5	2	2